

国際エネルギー機関拠出金

令和4年度予算額 **4.1 億円**（3.8 億円）

事業の内容

事業目的・概要

国際エネルギー機関（IEA）を通じて、エネルギー市場の安定に資する事業や技術ロードマップ作成、ネットワーク形成等に資する事業を行います。

1. エネルギー市場の安定

WEO（World Energy Outlook）をはじめとするIEAの分析は、各国の政策立案や投資判断の重要な材料となっており、引き続きその取組を支援し、市場の透明性の向上に取り組めます。

2. エネルギー技術の研究開発分析

エネルギー技術見通しの策定を通じ、世界全体で技術開発の方向性を共有し、我が国の戦略も的確に盛り込みながら、国際協力を進めます。

3. クリーンエネルギープラットフォーム

閣僚級の会議を開催し、再エネ、原子力、CCUS、カーボンリサイクル、水素を含む脱炭素技術のイノベーション促進のための対話を促進します。

成果目標

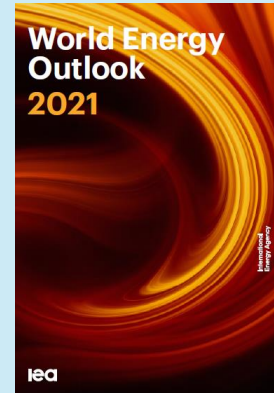
- IEAによるエネルギー市場見通し作成や、脱炭素技術の研究開発分析及び普及促進のための活動を通じ、我が国のエネルギートランジションに向けた適切なシナリオ設計やイノベーション推進に貢献します。
- 我が国のエネルギー政策を適切に国際社会に発信するため、主要会合における議長・副議長ポストの日本人数を毎年5名確保することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

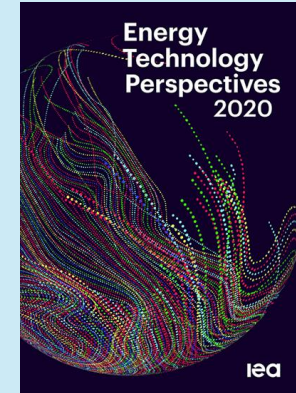


事業イメージ

（1）IEAによる各種分析



World Energy Outlook
2021



Energy Technology Perspectives
2020

（2）クリーンエネルギー大臣会合



【参考】：第10回会合（2019年5月27日～29日開催）